



2021年 第75回 読書週間

山下多恵子文学講座V

# ハンセン病療養所の 子どもたち

——閉ざされた世界・信じた未来

かつてハンセン病療養所の中には、子どもたちがいて学校もありました。幼くして家族と離された子どもたちは、療養所の中でどのような生活をし、どんなことを思いながら、日を送っていたのでしょうか。

彼らの残した詩や作文を読みながら、ハンセン病を生きた人たちの思いに迫ります。

日時／10月31日(日)

午後2時～3時40分

会場／十日町情報館 視聴覚ホール

定員／先着45人(要事前申込み・入場無料)

お申し込みは県内在住の方のみとさせていただきます

※当日はマスクの着用をお願いします。

受付にて検温し、37.0℃以上の発熱、または咳、強いだるさなどの症状がある方は、入場をご遠慮いただきます。

講師／山下多恵子(やました・たえこ)

1953年、岩手県雫石町生まれ。国際啄木学会理事。日本ペンクラブ会員。日本近代文学会会員。

著書に『海の蠍』、『忘れな草』、『裸足の女』、『啄木と郁雨』、『あふれる』、『かなしき時は君を思へり』、編書に『土に書いた言葉 吉野せいアンソロジー』、『おん身は花の姿にて 網野菊アンソロジー』などがある(以上すべて未知谷)。最新刊は山下編『恋する昭和 芝木好子アンソロジー』(未知谷、2021)。

十日町市在住。

十日町情報館 948-0072 十日町市西本町2丁目1番地1  
TEL/025-750-5100 FAX/025-750-5103